

編集後記

さわやかな秋となって参りましたが、読者のみなさまいかがお過ごしでしょうか？

今、この原稿を書いているのは8月ですが、天の助けか、今年の夏は昨年のような猛暑ではないようです。節電15%が叫ばれていますが、各企業は、言われるまでもなく自主的に節電に努めています。何か日本的な光景で、日本人の美質が発現されているようです。

さて、過日7月26日に東京ビッグサイトで下水道展'11東京が開催され今回のテーマとも関連するので行ってきました。そこでは、推進工法のコーナーが設けられていました。各種の工法協会がたくさん作られているのに驚きました。やはり、建設費が注がれている分野には、技術も集まってくるようです。予算が多ければ、いろんな技術が集中的に集まり開発意欲も旺盛になることを実感しました。蛇足ながら、実際に機械にふれて、担当者の話を聞くと即物的に理解できた気になります。結構いろんなタイプの工法がありますが、それは、切削部のヘッドの違いであったりして、根本の幹の部分と同じでいろいろ枝分かれしているのです。

今回の山岳トンネル、シールド・推進工特集では、最新のトンネル、シールド、推進技術と施工事例及び、

換気、照明といったトンネル施工環境の改善に関係した技術を紹介しました。

他の月の特集でも、情報化、安全、地下構造物などで、トンネル、シールド機械も取り上げられています。何を選んだらいいのか迷いますが、各社のニュースリリースや、関連月刊誌、新聞記事などを参考にさせていただきます。

巻頭言は臨床トンネル工学研究所の中川様にいただきました。報文は、節電、コストダウン、安全、維持管理、新材料、新施工技術など多様な内容になっています。すでにこの分野は既存工法も多くあり、できるだけここ1年の事例を集めました。交流の広場は、トンネル施工で重きをなす発破について解説をいただきました。トンネル関係の方に技術情報として役立てば、ありがたいことです。海外のトンネル工事についても掲載を企画しましたが、今回はうまく折り合いませんでした。次回の機会にご期待下さい。

まだまだ日本初のS字形急曲線施工など、トンネル、シールド施工に対し、従来にない要求が出て、それに答える技術が続々と生まれていることに日本の建設機械の技術者の底力を感じます。

最後に、今回執筆いただいたみなさまには大変お忙しいところ執筆をお引き受けいただきありがとうございます。

(京免・江本)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
橋元 和男	本田 宜史
渡邊 和夫	

編集委員長

田中 康順 鹿島道路(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
伊藤 健一	(独)鉄道・運輸機構
松本 久	(独)水資源機構
宮崎 康信	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
原 茂宏	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
磯野 義男	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
野元 義一	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

12月号「建設施工の地球温暖化対策、環境対策特集」予告

- ・燃費基準の創設、低炭素型建設機械の普及支援
- ・コンクリート塊の再資源化による二酸化炭素固定
建設リサイクルを通じた吸収作用の保全・強化の展望
- ・ウインド・パワー・かみす風力発電所工事
- ・中温化(低炭素)アスファルト舗装のCO₂削減効果
- ・国内初 オフロード法2011年基準適合の油圧ショベル
- ・ハイブリッド油圧ショベル
- ・建設機械の燃費評価方法 JCMAS 燃費試験方法と燃費評価値
- ・オーダーメイド型の土壌・地下水浄化技術 バイオプレンディー工法
- ・海上工事で発生する海底振動が周辺生物へおよぼす影響
- ・鉄鋼スラグによる海域環境改善技術
- ・建設リサイクルの状況
- ・建設機械における環境負荷物質の低減活動

No.741「建設の施工企画」 2011年11月号

[定価] 1部840円(本体800円)

年間購読料9,000円

平成23年11月20日印刷

平成23年11月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	部〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp

担当 本社編集部 宗像 敏